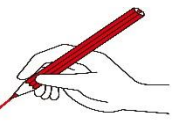


Move Mountains

5年生通信

12月12日84号



○考え議論する道徳

教員でない友人からよく言われます。「道徳ってつまらなかったよね～」と。

学校あるあるとでも言いましょか。

押しつけの、きれいごとを言う時間。そんなイメージはだいぶ変わったと思います。道徳が、特別の教科となり教科書も指導要領も大きく変わりました。

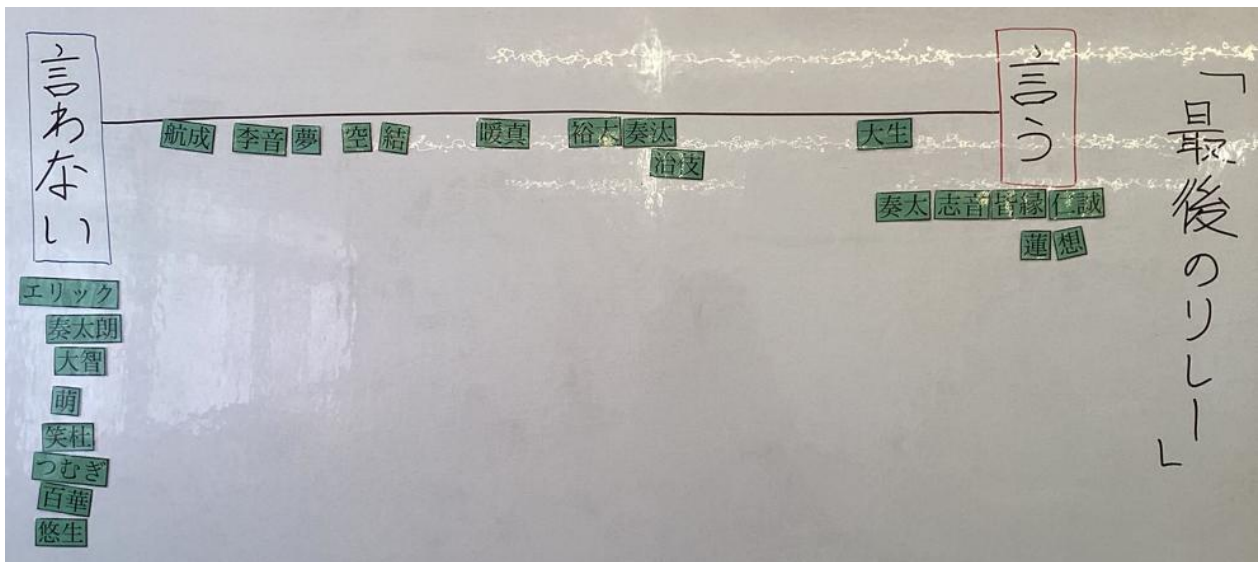
考え、議論する道徳です。正解はありません。

「仲間のリレー選手が、足の怪我をしている。監督に言うか、言わないか」

- ・高校最後の大会
- ・ずっと4人で練習してきた
- ・補欠の仲間もいる
- ・勝てるかどうかは分からない
- ・勝っても悲しむかもしれない

など、悩むような情報が次々と足されていきます。

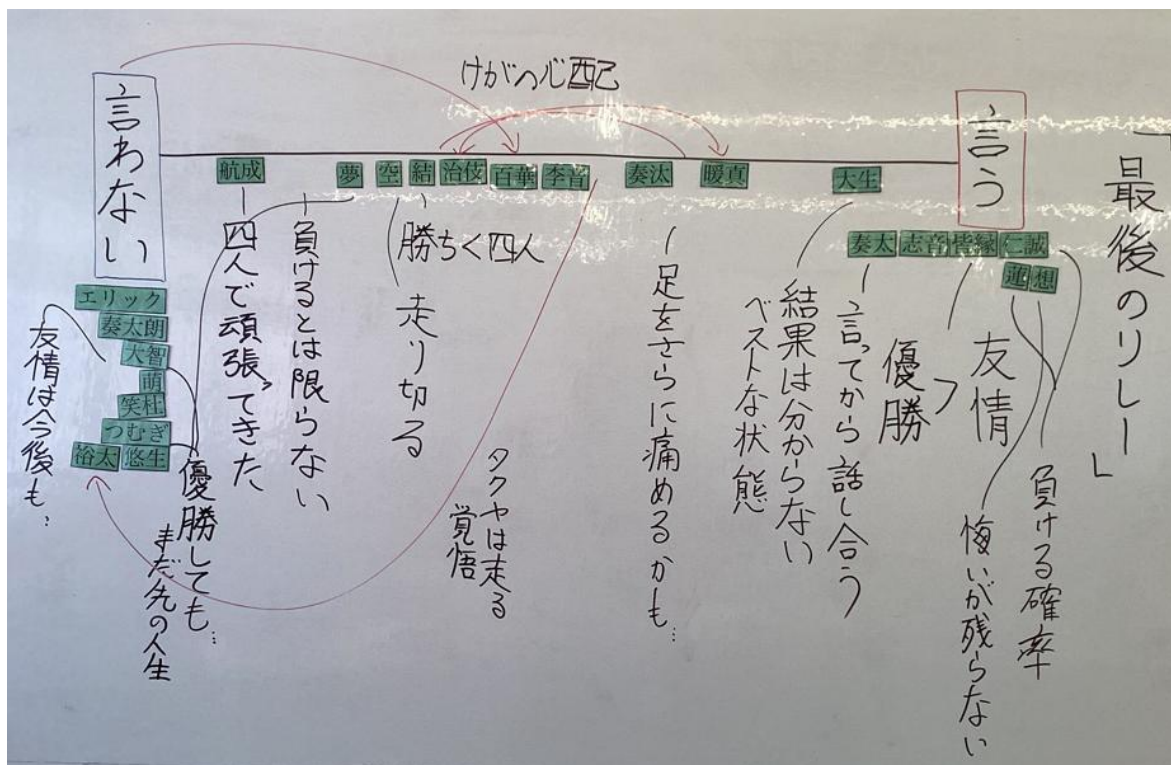
二項対立ではありますが、どちらかを100で考える必要はなく、「悩みに悩んで」と言いました。スケールをうめます。



こんな感じです。

「気持ちとしては言う方が大きいけど、悩む」という子は、真ん中よりも右側に寄っています。反対も然り。

ここまで考える時間です。こうして視覚化されると議論が始まります。



赤の矢印は、途中で意見が変わった子です。意見を聞く過程で、考えが変容していくのです。「正解はない」が合言葉です。

授業終了後「僕たちも悩んでいることがあるんです」と言いに来た子がいました。「許す許さないではなく、スケールで考えてみたら？」とアドバイスしてみました。道德の授業で学んだ技も生活に活かしていけますね。

振り返りより

- ・私は 100% 言わないにしたけど、本当は言う、言わないでもものすごく迷っていた。(中略) 本当に一番思ったのは、友情はやり直せない確率の方が高いけど、仮に高校でいい成績出せなかったとしても、後で(大学など)でやり直せる。
- ・友情とは、本人の要望に応えることだと思う。
- ・友情はお金でも買えない大切に貴重なものだし、今後の人生にも関わるから友情を選ぶ。
- ・友情とは、信頼し合い、時には厳しく時には優しくする仲のことだと思う。

議論することを通して「友情」についての考えを深めました。

☆お便りフォームはこちら☆

<https://forms.gle/ndGkDHTYcmB1bWyU9>

